

# 同行援護の基礎知識

～同行援護従業者養成研修～

か い ご の 学 校

カイゴミライズアカデミー

# 基本的な考え方

## 同行援護従事者に求められるもの

「視覚障害」は「情報障害」と言われます。同行援護時に一番求められるものは「移動時に必要な情報」である。また、「代筆・代読」などのコミュニケーション支援も重要です。

つまり情報提供が主たる支援に繋がるということです。同行援護時における移動に伴う情報提供とは、まず、「場面や動きが変化する時は必ずしっかりと止まる」ということです。つぎに「止まったら目の前の状況やこれからの動きを、なるべくわかりやすい言葉や手を導くことで視覚障がい者の方に伝える」ということです。このようなことが必要とされる同行援護従事者は、「言葉」と「身体」を同時に使いサービスを行う必要があるということです。

情報提供には「見たものを言葉にする」そして、「これからの自分の動きを言葉にする」ということが大切です。

常日頃からこのようなことを意識し練習しておく必要があります。

同行援護での移動支援は「情報提供」と「安心・安全」を前提に支援することが求められます。

# 視覚障がい者への接し方

## 対等な立場で接する

視覚障がい者の方と接するにあたって最も大事なことは、「見えない」＝「特別な人ではない」という考え方です。視覚障がい者の方は、健常者と比べ色々な工夫や努力をし日常を過ごされています。私たちだったらこのような障害を乗り越えいつも通りの日常を過ごすことができますか？むしろ、リスペクトすべきなのです。

つまり人として敬意を払って接することが、信頼につながるということです。同行援護従事者は、視覚障がい者の方の「目」になって支援を行います。そこに信頼関係がなければ同行援護の支援として成り立ちません。

## 視覚障がい者への配慮とは

視覚障害がもつ特性について理解し配慮する必要があります。目が見えないということは、情報が不足することです。同行援護従事者は「情報提供」をすることが重要になってきます。視覚障がい者の方に「自己選択」をしてもらうにも情報提供が必要です。食事に関しても情報を伝え選んでもらう必要があります。買い物の品も同じです。情報提供とは「目を貸す」ということになります。また、自己選択だけの情報だけではなく、視覚障がい者の方が気づかない事にも目を配る必要もあります。

例えば、外出中の視覚障がい者の方の服にしみがついていていた場合、同行援護従事者がそのことに気づき情報を提供することが必要になります。これに気づかず自宅に帰って家族等に指摘されたとなると「シミの付いた服で今まで外出していた」ということに自尊心が傷つくことになります。このようなことにも注意を払い支援を行う必要があるのです。

# 同行援護中の留意点

## 《既往歴の確認》

同行援護の支援前に確認しておく5つの事項

- ①水分や塩分の摂取制限やアレルギー
- ②病歴の確認
- ③糖尿病の低血糖時の対応
- ④薬の服薬状況と持参の確認
- ⑤その他留意点

## 《声掛けやあいさつ》

正面から相手の顔を見て優しくハキハキとした言葉で微笑みを浮かべ挨拶をしてください。そのときに顔色や声掛け等で体調確認を行うことも良いでしょう。そして、自分の名前と相手の名前を入れて挨拶をすることが望ましいです。

「〇〇さん。こんにちは。〇〇です。」といった内容です。

同行援護従事者の第一印象は、挨拶から始まるということを意識してください。

# 服薬管理について

## 【錠剤・カプセル、粉・顆粒薬】

大前提として、薬は水で飲むのが基本。お茶や果汁で薬を飲むと効果が減少したり、副作用が出たりすることがあります。錠剤やカプセルを飲ませるときは、1つずつ舌の上に乗せましょう。粉や顆粒剤の量が多いときや、飲み込む力が弱いときは、オブラートに包んで何回かに分ける、薬を滑らかにして飲み込みやすくする「服用ゼリー」を利用するなどの工夫を。

## 【舌下剤】

舌の下に錠剤を置きます。ゆっくりと唾液で溶かして吸収させる薬ですから、かみ砕いたり飲み込んだりしないように注意してください。

## 【液体の薬】

容器を静かに振って中身を均質にしてから、コップや吸い飲みで少しずつ飲んでもらいます。

## 【目薬】

まず、目薬が雑菌に感染しないよう、スポイトの先端にまつ毛や皮膚を触れさせないように注意をする。そして流れた液が口や耳に入らないように、ティッシュを用意しておきましょう。利用者の頭を軽くささえ、下まぶたの下を軽くおさえると少しだけ粘膜が見えますから、そこを狙ってそっと目薬を落とします。液が流れ出ないように、すぐ目をつぶってもらいましょう。

## 服薬管理について②

### 【座薬】

利用者に横向きに寝てもらい、坐薬の先端にワセリンなどを塗って滑りやすくしましょう。指の第二関節が隠れるくらいまで挿入したあと、薬が押し戻されないように、10秒ほどティッシュで肛門を押さええます。

### 【インスリン】

インスリンの自己注射は糖尿病の治療法のひとつです。糖尿病では血糖を下げるホルモン「インスリン」が身体の中で不足してしまうため、1日に数回、本人や家族が注射をして補います。

※開封前のインスリン製剤は冷蔵庫で、使用中のものは常温で保存。冷蔵庫保存の場合は凍結しないように注意します。

### 【インスリン自己注射の手順】



## 同行援護中の留意点②

### 《同行援護前の確認》

外出前には以下の5つを確認する必要があります。

- ①顔色・表情、声掛けでの体調確認。
- ②身だしなみ※衣類は外出先とあっているか。頭髪や化粧、服装などは整っているか。
- ③衣類の汚れやシミ気を付ける。
- ④靴下の左右の色は同じか。
- ⑤靴の左右や種類の確認。

### 《同行援護中の確認》

#### 移動中の観察

同行援護中も熱中症や貧血など病歴と共に気を付ける。顔色や唇の色、口の渇きや意識の確認等を行う。また、衣服の乱れや汚れにも気を付ける。

#### 情報支援

安全に移動してもらうためには移動中の状況の変化に対しての情報提供が必要です。風景や街中の様子、雲や天気などを伝え、同行援護を楽しんでもらう必要があります。

# 同行援護従事者の心がけ

## ① 守秘義務

同行援護従事者は、同行援護の業務中に知り得た個人情報に関しては、不当な目的に使用してはなりません。相談員からのモニタリング時には必要時とみなし情報提供を行うこともある。

## ② 時間厳守

サービス開始時間には遅れないよう心掛け、5分前に現場に到着する必要があります。

## ③ 同行援護の内容

あらかじめ支持された内容のサービスを行います。ただし、視覚障がい者の方の健康状態の変化やサービス内容を変える場合は、上司や事業所に連絡し相談する必要があります。

## ④ 医療行為

医療行為は業務独占です。必ず行わないようにいたしましょう。

## ⑤ 金銭の貸し借り

金銭の貸し借り。物をいただくことは厳禁です。

## ⑥ 体調管理

自分自身の体調管理も大事なことです。しっかりと自己管理を意識し万全の状態で行えるようにいたしましょう。



# 歩行に関する補装具、用具の知識

## ①歩行補助具

《杖の種類について》

### 【一本杖】

現在、もっとも普及しているタイプの杖です。自立歩行のできる方で杖があればより安定して歩行できるよう、補助的に使用します。

### 【多点杖】

脚が4点・3点に別れているため、一本杖よりも着地面積が広く安定します。点が同じ高さで接地しなければいけないため、凹凸の少ない室内に適しています。

### 【松葉づえ】

松葉型をした2本の支柱の上部に脇当、途中にグリップがあります。主に足への荷重を減らすための構造で、もっとも重い荷重に耐えられる杖です。通常は2本1組で使用します。

### 【ロフトランドクラッチ】

カフ(前腕を通す「輪」)とグリップの2カ所で体重を支えます。体重を分散しやすく、握力の弱い方や手首に力が入りにくい方に適しています。

一本杖  
1



ロフトランド  
クラッチ  
2



松葉杖  
3



四点杖  
4



## 歩行に関する補装具、用具の知識②

【一本杖・多点杖の使用方法】

Q1:杖の適切な高さは?

Q2:杖の持つ方向の手は?

Q3:杖での歩行方法は?

①杖→健(力が入りやすいほう)→患(力が入りにくいほう)

②杖→患(力が入りにくいほう)→健(力が入りやすいほう)

③健(力が入りやすいほう)→杖→患(力が入りにくいほう)

Q4:介助する側の人立ち位置は?

## 歩行に関する補装具、用具の知識③

### 【白杖】

視覚障がい者の方が使用する杖です。

Q, 白杖には3つの役割がありますが、どのような役割でしょうか？

①

②

③

白杖の種類としては、「折りたたみ式」「スライド式」「直杖」がある。材質や太さもさまざまである。杖の先である「石突」も色々な種類がある。

### 白杖の法的根拠

道路交通法第14条第1項では「目が見ない者は、道路を通行するときは、政令で定める杖を携え、又は政令で定める盲導犬を連れていなければならない」となっている。

失明後、間もない視覚障がい者の方に多いのが、周りの目が気になることによって「白杖に対しての抵抗感」を持ってしまうということです。

また、知り合いに知られたくないといった場合も多いようです。

## 歩行に関する補装具、用具の知識④

### 【歩行時間延長信号機用小型送信機】

この装置を携帯して、交通弱者の為の感応信号機に近づくと、電波を感じて歩行者用の青信号の時間が延長されたり、盲人用信号機が音響を流してくれたりします。これらの送信機には、ループタイ型とカード型があります。



### 【電子機器】

主に上半身の前方にある障害物を超音波を用いて察知することができる機器です。白杖と超音波機器を合体させた白杖もあります。

### 【盲導犬】

視覚障がい者の方が外出するときに安全の確保を行うことも目的とした訓練を行った犬のことです。盲導犬とは、補助犬の一種であり盲導犬以外にも「介助犬」「聴導犬」といったは種類の補助犬がいます。

平成14年に身体障害者補助犬法が施行されたことにより、ホテルやデパートなどの民間施設でも受け入れの拒否ができなくなりました。

# 歩行に関係する補装具、用具の知識⑤

## 光学的補助具

光学的補助具は、弱視の人たちが使う拡大鏡、単眼鏡。また、メガネやサングラスがあります。

### 【単眼鏡】

単眼鏡とは、望遠鏡であり、看板や電車の時刻表など。少し離れたところの文字を見ることができるものです。

### 【拡大鏡】

虫眼鏡のことであり、小さな文字を見るために使います。

### 【サングラス】

太陽光によるまぶしさで見えにくい人に関しては、サングラスや遮光眼鏡を使用します。



## 日常生活に関係する用具の知識

視覚障がい者の方は、色々な工夫と用具を駆使し日常の生活を過ごされています。今では目で見ることが難しいことを音声にてハードルをクリアすることができます。その例として体重計・血圧計・体温計・電卓・血糖測定器・時計などがあります。調理器具に関しても、IHで音声対応している器具もあります。また、携帯電話では、音声でメールの文字を入力出来たり、メールや検索してページの文字を音声で出力してくれるものもあります。

また、視覚障がい者の方もパソコンを使う方が増えてきました。視覚障がい者の方にとってパソコンを使用するに関して、問題となるのはディスプレイが確認できないことが一番の問題です。今ではその問題も音声を利用して画面を読み上げるソフト(スクリーンリーダー)や画面を拡大する機能がありパソコン使用の手助けになっています。

また、タブレットも同じくあらゆる便利な機能が搭載されており、タブレットを使用する視覚障がい者の方も増えてきています。

# 環境と移動に伴う機器

視覚障がい者の方が日々過ごす中で物理的環境と人的環境が関係しており、これらの環境には視覚障がい者の方の問題となる4つのバリアがあります。

## 物理的バリア

公共交通機関、道路、建物などにおいて、利用者に移動面で困難をもたらす物理的なバリアのこと。

## 社会的バリア

社会のルール、制度によって、障害のある人が能力以前の段階で機会の均等を奪われているバリアのこと。

## 情報的バリア

情報の伝え方が不十分であるために、必要な情報が平等に得られないバリアのこと。

## 精神的バリア

周囲からの心ない言葉、偏見や差別、無関心など、障害のある人を受け入れないバリアのこと。



## 環境と移動に伴う機器②

様々なバリアを乗り越えるため色々な環境や機器の工夫があります。それらの環境と機器を紹介していきます。

### 線状ブロック

駅構内や歩道などにも設置されており、歩く方向を示すものである。

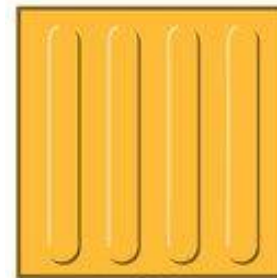
### 点状ブロック

階段の上り口や下り口、線状ブロックの分岐や屈曲などに使用されます。

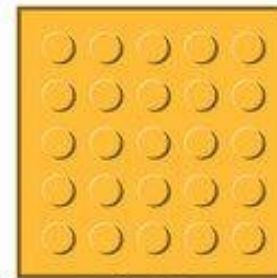
### ホーム縁端警告ブロック

電車のホームでみられるブロックです。  
点状ブロックに一本の線状ブロックが入ったもので線状がホームの内側になるように設置されている。

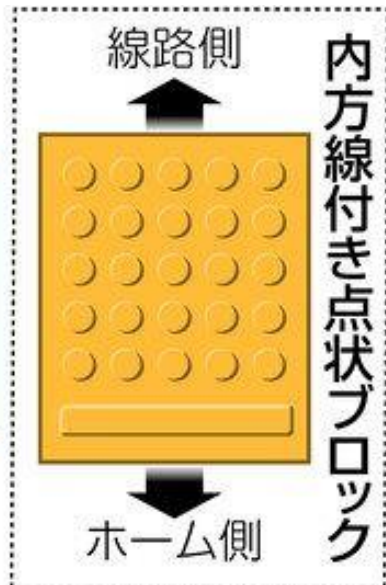
### 点字ブロックの 主な種類



線状  
ブロック



点状  
ブロック



線路側



内方線付き点状ブロック



ホーム側

## 環境と移動に伴う機器③

### 【音響装置付き信号】

視覚障がい者の方が、安全に横断歩道を横断するためにできたのが「音響装置付き信号」である。ボタンを押すことで青信号に変わった時、擬音・メロディーが流れるといった機器です。



# 演習時の服装・持ち物について

## <服装>

動きやすい服装で出席してください。

スカートやヒールの高い靴、サンダルはご遠慮願います。

更衣室やロッカーの準備はございませんので、通学時からそのまま受講可能な服装でお願いいたします。

外出演習は雨天決行ですので、傘やレインコートをご用意ください。

## <持ち物>

- アイマスク

貸出もあります。

- お弁当

食事介助を行いますのでご飯とおかずの分かれているものを用意してください。

手作りOK。パン、麺類、丼物は不可。